

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	滋賀県・守山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	守山市文化遺産を活かした地域活性化事業	【計画の改善時期】 平成33年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>守山市が策定し、地域住民が主体となって進めている「守山まるごと活性化プラン（平成25年度策定、平成26年度以降実行）」に基づき、地域住民による文化遺産・歴史遺産への愛着を図り、コミュニティの活性化につなげるため、下記の取組を実施する。</p> <p>1、市内の文化遺産継承事業として、無形民俗文化財の後継者育成事業 2、市内の遺跡に関して、地域住民だけでなく様々な人を対象にした広報活動を行う</p>			
6 実施体制			
<p>守山市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や各補助事業に係る指導等を行う。 担当課：教育委員会事務局文化財保護課 また、補助事業は次の団体が実施する。 守山市文化遺産を活かした地域活性化事業実行委員会 構成団体（守山市教育委員会、下新川神社神事保存会、長刀祭祭礼委員会、勝部神社松明組、住吉神社火まつり保存会、吉身祭礼保存会、NPO法人守山弥生遺跡研究会）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 31,143 千円	平成30年度申請額： 2,406 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>祭りの継承者を育成する事業により、後継者不足を解消する。また若い世代が地域に溶け込み、地域を盛り上げる意気込みを持つことができる。祭りに使用する道具を伝統的な形のまま補修することによって参加者全体の士気を高め、現参加者だけでなく、次世代の参加者が祭りへの参加意欲が出るように促すことができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
特になし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	守山市教育委員会事務局 文化財保護課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	祭に参加する住民の人数			関連事業:		
目標値 1 :	平成 29 年度 306 人 ⇒ 平成 32 年度 350 人					
設定根拠 1 :	近年の当事業の成果で、マスコミ等の取材も増え地域住民の祭りに対する見方も変化している。しかし、自治会の人口減少や少子化に伴い祭りの担い手の確保が難しいことから0.5割増を目標とし祭りの維持を行う(長刀以外)					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
0	550 人	0	0	0	0	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	勝部の火祭り、鯨切り祭、長刀祭りの観光入込客数			関連事業:		
目標値 2 :	平成 29 年度 6,500 人 ⇒ 平成 32 年度 8,600 人					
設定根拠 2 :	守山市全体の観光客入込数の平均伸び率1.02倍を参考とし、今後の広報活動による増加を考慮し、毎年度1.1倍の集客を目指す。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
0	約6500 人	0	0	0	0	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	鮎切まつり継承事業					実施団体:	下新川神社神事保存会				
事業区分:	後継者養成					事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要:	少子化が進んでいる現在において、祭の後継者を育成していくことは大きな課題である。祭に参加する地域住民（主に新規加入や経験の少ない者）を対象に、祭の経験者からの演技指導や楽器の演奏指導を行い、技術の継承を行う。										
評価指標区分:	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	見学者の増加率を参考に毎年1.1倍を目指す										
目標値:	平成 29 年度 100 人					⇒ 平成 32 年度 133 人					
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
	134 人										
事業②:	長刀踊り継承事業					実施団体:	小津神社長刀踊り保存会				
事業区分:	後継者養成					事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要:	長刀祭は地域の自治会が輪番制で祭りを行っており、7年周期で担当をする。そのことから祭りに参加した7年14年21年前の参加者が次世代の若者に指導を行うことで、地域の様々な年齢層の方が祭りにかかわることとなり、地域に祭りがより浸透するようになる。										
評価指標区分:	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	自治会員の人数が、担当自治会によって異なるため担当自治会の人口の20%を目指す。										
目標値:	平成 29 年度 20 %					⇒ 平成 32 年度 20 %					
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
	約32 %										
事業③:	勝部松明組継承事業					実施団体:	勝部神社松明組				
事業区分:	後継者養成					事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要:	少子化が進んでいる現在において、祭の後継者を育成していくことは大きな課題である。祭に参加する地域住民（主に新規加入や経験の少ない者）を対象に、祭の経験者からの演技指導、祭の必要不可欠な大松明については作成方法指導を行い、技術の継承を行う。										
評価指標区分:	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標:	見学者の増加数を参考に前年度同様1.1倍の増加を毎年目指す。										
目標値:	平成 29 年度 100 人					⇒ 平成 32 年度 133 人					
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
	110										

事業④：	住吉神社火まつり継承事業	実施団体：	住吉神社火まつり保存会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	少子化が進んでいる現在において、祭の後継者を育成していくことは大きな課題である。祭に参加する地域住民（主に新規加入や経験の少ない者）を対象に、祭の経験者からの演技指導、祭の道具については、材料の確保と作成方法指導を行い、技術の継承を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	見学者の増加数を参考に前年度同様1.1倍の増加を毎年目指す。					
目標値：	平成 29 年度	50 (単位)	⇒	平成 32 年度	66 (単位)	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
	50					
事業⑤：	豊年踊り継承事業	実施団体：	吉身祭礼保存会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	少子化が進んでいる現在において、祭の後継者を育成していくことは大きな課題である。祭に参加する地域住民（主に新規加入や経験の少ない者）を対象に、祭の経験者からの演技指導及を行い、技術の継承を行う。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	人口減少が進んでいる地域のため、神事保存会の会員数を維持。					
目標値：	平成 29 年度	50 人	⇒	平成 32 年度	50 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
	53 人					
事業⑥：	鯨切まつり継承事業	実施団体：	下新川神社神事保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	祭に使用する道具の修繕、新調を行う。特に今年度は、鯨切神事には欠かせない鯨切包丁の研ぎ直しを行う。例年練習も含め神事のたびに使用しているので、切れ味、見た目ともに研ぎによる補修を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	見学者の増加数を参考に毎年度前年の1.1倍を目指す。					
目標値：	平成 29 年度	100 (単位)	⇒	平成 32 年度	133 (単位)	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
	134 人					

事業⑦：	長刀踊り継承事業	実施団体：	小津神社長刀踊保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	祭に使用する道具の修繕、新調を行う。長刀祭りは7年ごとの輪番制で行っている。そのためこれまでは保存会にて用具を保存していただけであった。今年度より保存会で担当地域の衣装を次世代まで保存するため衣装道具を修復し、修復が不可能なものは新調を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	自治会員の人数が、担当自治会によって異なるため担当自治会の人口の20%を目指す。					
目標値：	平成 29 年度 20 %		⇒	平成 32 年度 20 %		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
	約32 %					
事業⑧：	住吉神社火まつり継承事業	実施団体：	住吉神社火まつり保存会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	祭に使用する道具の修繕、新調を行う。今年度に関しては、かねてより使用してきた法被の新調を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	見学者の増加数と同様に毎年度前年の1.1倍を目指す。					
目標値：	平成 30 年度 55 人		⇒	平成 32 年度 66 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
	50					
事業⑨：	長刀踊り継承事業	実施団体：	小津神社長刀踊保存会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	長刀祭りの神事のビデオ撮影での記録保存を行う。記録された映像は、継承のための資料だけでなく平成26年度に本事業で作成したHPに掲載することで、より多くの人々に公開することができ、様々な人の文化遺産の関心につながる。					
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し(又は利用)回数等			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	継承用のDVDの貸し出し数及びHPに掲載する動画へのアクセス数(H26に作成した市のHPの閲覧者数を参考に設定)					
目標値：	平成 29 年度 3,000 PV		⇒	平成 32 年度 5,000 PV		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
	実施中					
	貸出も実施中					

事業⑩：	守山市文化財 QRガイドシステム作成	実施団体：	NPO法人 守山弥生遺跡研究会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 32 年度			
事業概要：	市内の文化財を対象とし事業を行う。スマートフォン用HPを作成するために、HPのもととなる記事を作成し、委託業者にスマートフォン版のHPへの編集作業を行ってもらう。					
評価指標区分：	・ホームページ閲覧数（PV数）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	毎年前年の1.5倍の閲覧数を目標とする。					
目標値：	平成 29 年度 3,000 PV ⇒ 平成 32 年度 10,000 PV					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
	実施中					
事業⑪：	守山市文化財 QRコード付き看板設置事業	実施団体：	NPO法人 守山弥生遺跡研究会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 32 年度			
事業概要：	上記ガイドシステム作成に関して、今年度以降に制作予定の現地説明板には、このHPへつながるQRコードを記入し、現地に設置し実際にHP内のガイドを見ることができるようにする。					
評価指標区分：	・ホームページ閲覧数（PV数）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	毎年前年の1.5倍の閲覧数を目標とする。（上記事業と共有）					
目標値：	平成 29 年度 3,000 PV ⇒ 平成 32 年度 10,000 PV					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
	実施中					